

感染症情報 8月14日～20日

府下小児科195医療機関(堺市19)から

①咽頭結膜熱	421例(堺市	64例)
②感染性胃腸炎	370例(堺市	26例)
③溶連菌感染症	236例(堺市	25例)
④RSウイルス感染症	110例(堺市	5例)
⑤ヘルパンギーナ	107例(堺市	9例)

府下301医療機関(堺市28)から

インフルエンザ 331例(堺市 24例)

前週比2.6%増の1,365件の報告数であった。今週もお盆を含んでいる。咽頭結膜熱が府下で35%増、堺市で前回35例→今回64例であった。堺市で定点当たり3.37(警報レベル開始の基準値3を超えた)。感染性胃腸炎が府下で前週比1%減、堺市で前週23例→今回26例であった。溶連菌感染症が府下が9%減、堺市で前週40例→今回25例。RSウイルス感染症が府下で23%減、堺市で13例→5例であった。ヘルパンギーナは府下で15%減、堺市で12例→9例であった。

インフルエンザが府下で前週201例→331例で65%増、堺市で前週20例→今回24例であった。定点当たり大阪府は0.67→1.10、堺市で0.71→0.86であった。大阪府で8月に流行期入りの目安の1を超えたのは2010年以降初めてとある。

府下301医療機関(堺市28)から

新型コロナウイルス感染症 3,576例(堺市 384例)
大阪府定点 11.88 堺市定点 13.71

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
176	279	216	378	407	348	345	456	290	345	336	3576

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前週3,078例→今回3,576例で16%増、定点当たり10.23→11.88であった。堺市は前週446例→今回384例で14%減、定点当たり15.93→13.71であった。大阪府のブロック別で堺市ブロックはワーストから3番になった。

麻疹や風疹の報告はなかった。